

雨の日に洗車をしよう

山之口小学校 六年 徳永 大陽

この間、ある会社の前で不思議な光景を見
ました。初めて見るその光景にぼくは、雨活

するな、これだ！^レと思いました。

それは、雨の日の「洗車」です。その会社

のおじさんは、カッパを着て、バケツとぞう

きんをけを使^つて、車を洗^つていました。水

道に^つな^かた長いホースは使^つていません。

ふ^つている雨を利用しながら、少量のバケツ

の^レで車を洗^つていたのです。雨の活用をず

つと考^えていたけれど、ぼくはな^かな^かアイ

デアが浮か^かびませんでした。しかし、雨の日

の洗車は、やろうと思^えば誰でも簡単に実行

できます。雨が活用できると、水道代が節約

できますし、一石二鳥です。

インターネットで調べたり、日本には納せ

五〇〇万台以上の自動車があるぞうです。そ

して、洗車に使う水の量は、二〇分間で納二

〇リットルくらいと書いてありました。

日本中の自動車は洗車する。一五〇億リットルの水が使われることにはなりません。計算すると、ぼくの市にあるがらの貯水量の二・二杯分はあたりります。でも「たいない」と思わば叫んでしまいました。たかや水不足はいると「洗車はひかえよう」と呼びかける人たちが思いました。

日本はとても水に恵まれた国なので、雨は歓迎されてよいように思います。特にこの夏は、ゲリラ豪雨で、たくさんの方々が被害にあいました。ぼく自身もそう思うときがあります。この時期では、雨が降ると、運動会の練習ができませんし、運動会の日も雨がふると最悪です。でも「本当は、雨は大切な天からの恵み、貴重な資源です。感謝して、びしょ濡れに活用はできずにはいけません。」「よくも雨の日曜日に父と一緒にかつぱを着て、洗車をしてきました。ハゲツに水を入れて洗がいをしてかき、それび車のボディーを洗いまわした。雨がどんどん泡を消し、車を洗

うのを助けよくおます。雨はこなたに力かた
 子のたし感心してしまいました。最後にバケ
 ットの水を五杯かけました。それまで十分でした。
 父と雨にぬれながらの作業はとも楽しかった
 たです。父もいつてもよいうれしくうに車を洗
 っていただきました。

各家庭で「雨の日の洗車」を取り組むため
 に、休みの日か雨天でないといけないうけ
 ども、まず会社が取り組むかどうか。
 そこが、全国の社長さんたちにお願ひです。

「雨の日は会社の車を洗う日」にしませんか。
 日本中の会社が組みあがって雨活にならな
 くとお思います。水の惑星「地球」を守るため
 に、このように雨水を活用してください。